

## 2023年度事業計画

事業区分	事業内容
テレビ番組 国際交流事業	<p>(1) 国際版テレビ番組の無償提供</p> <p>① 日本の国際発信力強化の意義が高まる中、一般財団法人放送番組国際交流センター（以下、JAMCO）の独自活動として国際版テレビ番組の途上国の放送機関への無償提供を促進する。ABU（アジア太平洋放送連合）等との連携強化によってアジア太平洋諸国への提供をさらに進めるとともに、スペイン語版の制作を強化するなどして番組提供先の多様化をはかる。</p> <p>② 無償提供するテレビ番組について、国連総会の決議により認定された後発開発途上国については、提供先放送機関の現地語化経費の支援を継続する。</p> <p>③ 国際版番組を活用した、途上国の大学等に対する教育活動支援を継続する。</p> <p>④ 国際版提供・提供支援のため、JAMCOの活動や国際版番組ライブラリー（以下、ライブラリー）について、ホームページやABU総会など様々な手段や機会を活用し、周知活動を行う。</p> <p>(2) テレビ番組の国際版制作と国際版の保管管理</p> <p>① 日本の現状や文化を幅広く紹介する番組に加え、教育、防災、環境、技術など日本の知見を途上国の発展に活かす国際版番組を制作する。日本と諸外国の相互理解の促進に加え、日本への関心の高まりに応えるよう配慮する。</p> <p>② 英語圏以外の地域での番組提供を促進するため、英語以外の言語の国際版番組の制作を継続する。</p> <p>③ 制作から12年以上たった国際版番組のうち、磁気テープのまま保管している797本について、原盤提供元の放送機関や関</p>

係当局と丁寧に意見交換しながら、スケジュール感をもって取り扱いを検討する。

(3) 国際シンポジウムの開催

国際情勢やメディア環境の変化を踏まえたテーマを設定して国際シンポジウムを開催し、メディアが果たす役割と可能性について現状と課題を展望する。

(4) テレビ番組に関する海外の動向調査

現地調査などによって途上国のメディア・放送の現状や視聴者のニーズを把握し、番組提供先の拡大と多様化につなげる。